

高等学校 令和8年度 教科

国語

科目

文学国語

教科：国語 科目：文学国語

単位数：2 単位

対象学年組：第2学年 1組～7組

教科担当：(1組：大谷) (2組：大谷) (3組：大谷) (4組：大谷) (5組：若菜) (6組：若菜)

使用教科書：(「文学国語」東京書籍(文国701)) (7組：若菜)

教科 国語 の目標：

【知識及び技能】 生涯にわたる社会生活に必要な国語の知識や技能を身に付けるとともに、我が国の言語文化に対する理解を深めることができるようにする。

【思考力、判断力、表現力等】 深く共感したり豊かに想像したりする力を伸ばすとともに、創造的に考える力を養い、他者との関わりの中で伝え合う力を高め、自分の思いや考えを広げたり深めたりすることができるようにする。

【学びに向かう力、人間性等】 言葉がもつ価値への認識を深めるとともに、生涯にわたって読書に親しみ自己を向上させ、我が国の言語文化の担い手としての自覚を深め、言葉を通して他者や社会に関わろうとする態度を養う。

科目 文学国語 の目標：

【知識及び技能】	【思考力、判断力、表現力等】	【学びに向かう力、人間性等】
生涯にわたる社会生活に必要な国語の知識や技能を身に付けるとともに、我が国の言語文化に対する理解を深めることができるようにする。	深く共感したり豊かに想像したりする力を伸ばすとともに、創造的に考える力を養い、他者との関わりの中で伝え合う力を高め、自分の思いや考えを広げたり深めたりすることができるようにする。	言葉がもつ価値への認識を深めるとともに、生涯にわたって読書に親しみ自己を向上させ、我が国の言語文化の担い手としての自覚を深め、言葉を通して他者や社会に関わろうとする態度を養う。

	単元の具体的な指導目標	指導項目・内容	領域			評価規準	知	思	感	配当 時数	
			語	書	読						
1 学期	A 単元 随筆「雨月物語」 【知識及び技能】 生涯にわたる社会生活に必要な国語の知識や技能を身に付けるとともに、我が国の言語文化に対する理解を深めることができるようにする。 【思考力、判断力、表現力等】 深く共感したり豊かに想像したりする力を伸ばすとともに、創造的に考える力を養い、他者との関わりの中で伝え合う力を高め、自分の思いや考えを広げたり深めたりすることができるようにする。 【学びに向かう力、人間性等】 言葉がもつ価値への認識を深めるとともに、生涯にわたって読書に親しみ自己を向上させ、我が国の言語文化の担い手としての自覚を深め、言葉を通して他者や社会に関わろうとする態度を養う。	・筆者の考え方の変化を捉え、『雨月物語』が筆者にどのような影響を与えたかを考える。 1 「物語」に対する筆者の考えに注目して、本文を通読する。 2 筆者が「子供向けに書かれた本」をどのように感じていたかを読み取る。 3 『雨月物語』や『怪談』がどのような作品か確認し、筆者が『雨月物語』や『怪談』を好んで読んでいた理由を考える。 4 筆者が『雨月物語』の「浅茅が宿」からどのようなことを考え、何を感じたかを読み取る。 5 筆者がどのようなことを「これ以上ない希望だった。」と述べているか、読み取る。 6 「物語」に対する筆者の考え方の変化を整理する。 7 「物語」に対する自分の考えをまとめる。 ・一人1台端末の活用				【知技】 ・言葉には、想像や心情を豊かにする働きがあることを理解している。 ・情景の豊かさや心情の機微を表す語句の量を増し、文章の中で使うことを通して、語感を磨き語彙を豊かにしている。 ・文学的な文章を読むことを通して、我が国の言語文化の特質について理解を深めている。 【思判断】 ・「読むこと」において、文章の種類を踏まえて、内容や構成、展開、描写の仕方などを的確に捉えている。 ・「読むこと」において、作品の内容や解釈を踏まえ、人間、社会、自然などに対するものの見方、感じ方、考え方を深めている。 【主】進んで『雨月物語』が筆者に与えた影響を読み取り、今までの学習を生かして「物語」についての自分の考えをまとめようとしている。					5
	B 単元 小説「窓」 【知識及び技能】 生涯にわたる社会生活に必要な国語の知識や技能を身に付けるとともに、我が国の言語文化に対する理解を深めることができるようにする。 【思考力、判断力、表現力等】 深く共感したり豊かに想像したりする力を伸ばすとともに、創造的に考える力を養い、他者との関わりの中で伝え合う力を高め、自分の思いや考えを広げたり深めたりすることができるようにする。 【学びに向かう力、人間性等】 言葉がもつ価値への認識を深めるとともに、生涯にわたって読書に親しみ自己を向上させ、我が国の言語文化の担い手としての自覚を深め、言葉を通して他者や社会に関わろうとする態度を養う。	・場面や登場人物の設定における特徴を捉え、作中の「短編小説」が象徴するものについて考える。 1 「短編小説」の語る内容と「僕」との関係に注目しながら、本文を通読する。 2 「短編小説」が言った「小説ってのは小さな『窓』なんですよ。」とは、どのようなことを表しているか読み取る。 3 それを聞いた「僕」は何を考えたかを読み取る。 4 「窓」は誰でも、ページ数を知りようのない、一編の小説なんですよ。」とは、どのようなことを表しているか読み取る。 5 窓から外の風景を見ていた「僕」の心情を読み取る。 ・一人1台端末の活用				【知技】 ・言葉には、想像や心情を豊かにする働きがあることを理解している。 ・情景の豊かさや心情の機微を表す語句の量を増し、文章の中で使うことを通して、語感を磨き語彙を豊かにしている。 ・文学的な文章を読むことを通して、我が国の言語文化の特質について理解を深めている。 【思判断】 ・「読むこと」において、文章の種類を踏まえて、内容や構成、展開、描写の仕方などを的確に捉えている。 ・「読むこと」において、文章の構成や展開、表現の仕方を踏まえ、解釈の多様性について考察している。 【主】粘り強く「短編小説」が象徴するもの理解し、学習課題に沿って自分自身の記憶の風景を思い出して文章を書くとしている。					5
	定期考査										1
2 学期	C 単元 小説「山月記」 【知識及び技能】 生涯にわたる社会生活に必要な国語の知識や技能を身に付けるとともに、我が国の言語文化に対する理解を深めることができるようにする。 【思考力、判断力、表現力等】 深く共感したり豊かに想像したりする力を伸ばすとともに、創造的に考える力を養い、他者との関わりの中で伝え合う力を高め、自分の思いや考えを広げたり深めたりすることができるようにする。 【学びに向かう力、人間性等】 言葉がもつ価値への認識を深めるとともに、生涯にわたって読書に親しみ自己を向上させ、我が国の言語文化の担い手としての自覚を深め、言葉を通して他者や社会に関わろうとする態度を養う。	・登場人物の心情を表現に即して把握し、主人公の内面と苦悩について考える。 1 作者について予備知識を持ったうえで、現代社会のあるいは自分が置かれた状況と同じ点、違う点について考える。 2 あらかじめ調べてきた語句の意味を確認し、漢字調を生かした語句の意味を明らかにする。 3 「語り」の変化を手がかりに、本文をいくつかの場面に分け、それぞれの要点をまとめる。 4 第一段に描かれた李徴の性格について発表する。 5 李徴がどのような経緯をたどって虎になつたかをまとめる。 6 虎となった李徴の心情を考える。 7 李徴の心情、生き方を探る。 8 李徴は自らの詩をどのような理由から哀悼に伝え、哀悼はその作品をどのように感じたか、考える。 ・一人1台端末の活用				【知技】 ・言葉には、想像や心情を豊かにする働きがあることを理解している。 ・情景の豊かさや心情の機微を表す語句の量を増し、文章の中で使うことを通して、語感を磨き語彙を豊かにしている。 ・文学的な文章における文体的特徴や修辭などの表現の技法について、体系的に理解し使っている。 ・文学的な文章を読むことを通して、我が国の言語文化の特質について理解を深めている。 【思判断】 ・人間、社会、自然などに対するものの見方、感じ方、考え方を豊かにする読書の意義と効用について理解を深めている。 【思判断】 ・「読むこと」において、文章の種類を踏まえて、内容や構成、展開、描写の仕方などを的確に捉えている。 ・「読むこと」において、語り手の視点や場面の設定の仕方、表現の特色について評価することを通して、内容を解釈している。 ・「読むこと」において、作品に表れているものの見方、感じ方、考え方を捉えるとともに、作品が成立した背景や他の作品などとの関係を読み取る。 【主】粘り強く登場人物の心情を把握し、学習課題に沿って主人公の内面と苦悩を理解して、その生き方について考え、話し合おうとしている。					12

[illegible]